

献

辞

高向教授の退官記念号に献辞をしたためののに、改めて先生の畧歴譜を拝見して、今更のように深い感慨を覚える。先ず研究と教育における業績の豊富なことに刮目する。ご専門の商業経済学・流通論，マーケティング論を主な領域としながら地域産業・経済の分野に及ぶ実証分析と理論構築が，研究成果と学会活動に開花している詳細は，他の専門家の解説に任せるとして，先生のひたむきな研究に裏付けられた授業と演習は，永年にわたって学生の親炙するところであった。附属図書館長，学生部長の歴任は先生の大学運営と学生指導への熟達を反映したものである。

これらの学識経験を地域社会へ還元されたのが，多彩な各種審議会，委員会での指導者としての活躍である。法令に依拠して権限の大きい審議会会長から，県郡部の団体や自治体の小委員会委員まで，先生は公正にまた誠実にその任を果たしておられる。実践学者の面目が躍如としていて，本県産業経済の発展への貢献は計り知れないといえよう。

視点を変えて感銘を受けるのは高向教授の個性そのものである。その一端はご自身で作成された後掲の畧歴譜に見られ，いかなる細部些事であっても，緻密で丹念な検証と完結を果たそうとなさるのが，先生の姿勢である。しかも，それが研究教育面だけでなく，草木や野鳥の博物愛好とか貝殻収集の趣味にも徹底しているところが先生の本領であり，学内外の活動の場で吐露された，先生の人間性となり魅力となって結実している。

私事にわたり恐縮ながら，高向教授と私とは旧制高等学校の同窓である。本学学長に就任してからは，学内管理運営について先生の見識に頼ってきたことを附記しておきたい。ここに退官記念号の献辞を捧げるに当たって，永年の御功績を讃えると共に，これからも先生が市民合唱活動に率先して活力を倍加され，関係学会と地域振興に一層の寄与をなされることを期待するものである。

平成6年3月

鹿児島県立短期大学長 岩切 成郎